

◎東部ベーリング海のたらばがに漁業及びずわいがに漁業に関する
日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の交換公文

(略称) 米国とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極

昭和四十九年十二月二十四日 東京で
昭和五十年一月一日 効力発生
昭和五十年一月十四日 告示

(外務省告示第四号)

目 次

ページ

日本側書簡	九三五
1 日本国政府の見解	九三五
2 米国政府の見解	九三五
3 両政府の合意	九三六
(1) 日本側のたらばがに、ずわいがに漁業水域と向こう二年間の年間漁獲量	九三六
(2) 漁獲方法に関する暫定措置の適用	九三七
(3) 日米加委員会によるたらばがに、ずわいがに資源研究の継続とその結果の報告	九三七
(4) 漁獲量及び漁獲方法の規制実施とその視察	九三七
(5) 有効期間、取極実施状況等の検討及び将来の取極決定のための会合	九三八
附属書 たらばがに及びずわいがにの漁獲方法に関する暫定措置	九三九
米国とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極	九三三

合衆国側書簡.....	九四〇
○ かに漁業の取締りに関する日本側書簡.....	九四一
日本側書簡.....	九四一
米 国 公 務 員 の 日 本 船 舶 へ の 乗 船 に 関 す る 措 置.....	九四一
○ かにの混獲防止に関する日本側書簡.....	九四二
日本側書簡.....	九四二
混獲防止に関する措置.....	九四二
○ 合意された議事録.....	九四三
1 海洋汚染防止のための措置.....	九四三
2 漁具競合についての協議.....	九四三

日本側書簡

(東部ベーリング海のたらばがに漁業及びずわいがに漁業に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、東部ベーリング海のたらばがに漁業及びずわいがに漁業に関し千九百七十四年十一月二十五日から十二月十三日まで東京において日本国政府の代表者とアメリカ合衆国政府の代表者との間で行われた協議に言及するとともに、千九百七十二年十二月二十日の交換公文に掲げられた東部ベーリング海のたらばがに漁業及びずわいがに漁業に関する両政府間の従来²の取極に代わる次の了解を日本国政府に代わつて確認する光榮を有します。

日本国政府の見解

1 日本国政府は、たらばがに及びずわいがにが公海漁業資源であり、したがつて、日本国の国民及び船舶は東部ベーリング海においてたらばがに漁業及びずわいがに漁業を引き続き行う權利を有するとの見解を有している。

米国政府の見解

2 アメリカ合衆国政府は、たらばがに及びずわいがにが沿岸国(この場合においては、アメリカ合衆国を意味する)に排他的な管轄権、管理権及び開発の權利がある大陸棚^{だな}の天然資源であるとの見解を有している。

米国とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極

(Japanese Note)

Translation

Tokyo, December 24, 1974

Excellency,

I have the honor to refer to the consultation between the representatives of the Government of Japan and the Government of the United States of America in regard to the king and tanner crab fisheries in the eastern Bering Sea, held in Tokyo from November 25 to December 13, 1974, and to confirm, on behalf of the Government of Japan, the following understandings which shall replace the previous agreement between the two Governments on the king and tanner crab fisheries in the eastern Bering Sea contained in the exchange of notes on December 20, 1972:

1. The Government of Japan holds the view that king crabs and tanner crabs are high seas fishery resources, and that nationals and vessels of Japan are entitled to continue fishing for king crabs and tanner crabs in the eastern Bering Sea.

2. The Government of the United States of America is of the view that king crabs and tanner crabs are natural resources of the continental shelf over which the coastal state (in this case the United States of America) has exclusive jurisdiction, control, and rights of exploitation.

両政府の
合意

3 しかしながら、両政府は、東部ベーリング海のかに資源について、日本国の国民及び船舶が相当の期間にわたりその開発に従事してきた事実にかんがみ、前記の両政府のそれぞれの立場を害することなく、次のとおり合意した。

日本側の
たらばが
に、ずわ
いがに漁
業水域と
向こう二
年間の年
間漁獲量

(1) 東部ベーリング海における日本国の国民及び船舶によるたらばがに漁業及びずわいがに漁業は、日本国が歴史的に開発してきた水域及びその付近で、すなわち、日本国が過去において開発したかのにストック(系統群)の回ゆうする水域で引き続き行われる。ただし、日本国政府は、東部ベーリング海におけるかに資源の保存のために、次のことを確保する。

A 日本国の国民及び船舶による千九百七十五年及び千九百七十六年におけるたらばがに漁業及びずわいがに漁業の操業は、北緯五十五度三十分以北、西経百六十四度以西の水域において行われる。

B 日本国の国民及び船舶が千九百七十五年及び千九百七十六年において行うたらばがに及びずわいがにの年間の商業的漁獲は次の量を超えない。

(a) 次に掲げる座標を順次に結ぶ直線によつて囲まれる区域において、たらばがには零メートル・トン及びずわいは二千五百メートル・トン

北緯	西経
五十八度〇九分	百六十四度 〇〇分
五十七度〇〇分	百六十八度 〇〇分

3. However, the two Governments, having regard to the fact that nationals and vessels of Japan have over a period of years exploited the crab resources in the eastern Bering Sea, have agreed, without prejudice to their respective positions as described above, as follows:

(1) The fisheries for king and tanner crabs by nationals and vessels of Japan in the eastern Bering Sea will continue in and near the waters which have been fished historically by Japan; that is, those waters in which migrate crab stocks exploited in the past by Japan; provided that for the purpose of conservation of crab resources in the eastern Bering Sea, the Government of Japan ensures that:

A. The fishing operations for king and tanner crabs by nationals and vessels of Japan for the years 1975 and 1976 will be conducted in the waters north of 55°30' North Latitude and west of 164° West Longitude.

B. The annual commercial catches of king and tanner crabs by nationals and vessels of Japan for the years 1975 and 1976 shall not exceed:

(a) Zero metric tons of king crabs and 2,500 metric tons of tanner crabs in the area bounded by straight lines connecting the following coordinates in the order listed:

North Latitude	West Longitude
58°09'	164°00'
57°00'	168°00'

漁獲方法
に關する
暫定措置
の適用
日米加委
員会によ
るならば
がに、ず
わいがに
資源研究
の継続と
その結果
の報告
漁獲量及
び漁獲方
法の規制
実施とそ

- 五十七度四十分 百六十九度 五十分
五十七度四十分 百七十度 五十分
五十七度〇〇分 百七十度 五十分
五十六度二〇分 百六十九度五十五分
五十六度二十分 百六十八度 〇〇分
五十五度三十分 百六十八度 〇〇分
五十五度三十分 百六十四度 〇〇分
五十八度〇九分 百六十四度 〇〇分
- (b) 北緯五十五度三十分以北、西經百六十四度以西の水
域のうち(a)に定める区域の外側において、たらばがに
は九百五十三メートル・トン及びずわいがには七千七
百メートル・トン
- (2) 両政府は、東部ベーリング海においてたらばがに及びず
わいがにの漁獲を行う自国の国民及び船舶に対し、この書
簡の附屬書に掲げる暫定措置を適用する。
- (3) 北太平洋漁業条約に基づく国際委員会は、東部ベーリン
グ海のたらばがに及びずわいがに資源に関する研究を継続
し、かつ、強化すること及びその研究の結果を毎年十一月
三十日まで両政府に提出することを両政府によつて要請
される。

- (4) 両政府は、(1)のただし書及び(2)の規定に基づく措置を誠
実に実施するため、それぞれ適切かつ有効な措置をとるも
のとし、また、いずれの政府も、他方の政府の要請があつ

米國とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極

- 57°40' 169°50'
57°40' 170°50'
57°00' 170°50'
56°20' 169°55'
56°20' 168°00'
55°30' 168°00'
55°30' 164°00'
58°09' 164°00'
- (b) 953 metric tons of king crabs
and 7,700 metric tons of tanner crabs in the
waters north of 55°30' North Latitude and
west of 164° West Longitude, outside the
area designated in (a) above.

- (2) The two Governments shall apply such
interim measures as described in the Appendix
to this note to their respective nationals
and vessels fishing for king and tanner crabs
in the eastern Bering Sea.
- (3) The International Commission under the
North Pacific Fishery Convention will be
asked by the two Governments to continue and
intensify the study of the king and tanner
crab resources in the eastern Bering Sea and
to transmit to the two Governments annually
by November 30 the findings of such study.

- (4) For the purpose of carrying out faith-
fully measures under the provisions of the
 proviso of sub-paragraph (1) and the provi-
sions of sub-paragraph (2) of this paragraph,
the two Governments shall take appropriate

米国とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極

の視察

たときは、取締りの実施を視察する機会を与える。

有効期間、
取極実施
状況等の
検討及び
将来の取
極決定の
ための会

(5) この取極は千九百七十五年一月一日に効力を生じ、千九百七十六年十二月三十一日まで効力を存続する。両政府の代表者は、一方の政府の要請により、この取極の修正が望ましいかどうかについて考慮するため、その要請があつた日から六十日以内の双方に都合のよい時期に会合する。いかなる場合にも、両政府は、この取極の実施状況について検討するため、千九百七十六年十二月三十一日までに会合し、1及び2並びに3の柱書の規定にかんがみ、将来の取極について決定する。

本大臣は、更に、この書簡及び前記の了解を貴国政府に代わつて確認される閣下の返簡が両政府間の合意を構成するものとみなすことを提案する光榮を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百七十四年十二月二十四日に東京で

日本国外務大臣 宮澤喜一

日本国駐在アメリカ合衆国特命全權大使

ジェームズ・D・ホッドソン 閣下

九三八

and effective measures respectively, and either Government shall, if requested by the other Government, provide opportunity for observation of the conduct of enforcement.

(5) The present arrangements shall be effective as of January 1, 1975, and shall continue in effect until December 31, 1976. At the request of either Government, representatives of the two Governments will meet at a mutually convenient time within 60 days of such request to consider the desirability of modifications of these arrangements. In any event, the two Governments shall meet before December 31, 1976, to review the operation of these arrangements and decide on future arrangements, bearing in mind paragraphs 1 and 2, and the introductory part of this paragraph.

I have further the honor to propose that this note and Your Excellency's reply confirming the above understandings on behalf of your Government shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Kiichi Miyazawa
Minister for Foreign Affairs
of Japan

His Excellency
James D. Hodson,
Ambassador Extraordinary and
Plenipotentiary of the United States
of America in Japan

たらばがに及びずわいがにの漁獲方法に關する暫定措置

A 雌のたらばがに及びずわいがに、脱皮したたらばがに及びずわいがに並びに胸甲の幅が十五・八センチメートル未満のたらばがにの子がにを保持し及び使用してはならない。混獲されたこれらのかに、合意された枠を超えて捕獲されるたらばがに及び合意された枠を超えて捕獲されるずわいがにには、できる限り損傷しないように、速やかに海中にもどさなければならない。

B 千九百七十五年及び千九百七十六年において、かご以外の漁具を使用してたらばがに及びずわいがにを採捕してはならない。

APPENDIX

A. Female and soft-shelled king and tanner crabs, and small king crabs less than 15.8 cms. in maximum carapace width shall not be retained and used. Any such crabs which might be taken incidentally, any king crabs taken in excess of the agreed quotas, and any tanner crabs taken in excess of the agreed quotas shall be returned immediately to the sea with a minimum of injury.

B. King crabs and tanner crabs shall not be taken in 1975 and 1976 by means of fishing gear other than pots.

米国とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極

九四〇

(U.S. Note)

Tokyo, December 24, 1974

Excellency:

I have the honor to acknowledge receipt of Your Excellency's note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honor to confirm the above understandings on behalf of the Government of the United States of America and to agree that Your Excellency's note and this reply shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments.

Accept, Excellency, the renewed assurances of my highest consideration.

(Signed) James D. Hodgson

His Excellency
Kiichi Miyazawa
Minister for Foreign Affairs
Tokyo

訳文

(合衆国側書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次
の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本使は、更に、前記の了解をアメリカ合衆国政府に代わつて
確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意
を構成するものとみなすことに同意する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か
つて敬意を表します。

千九百七十四年十二月二十四日に東京で

ジェームズ・D・ホッドソン

日本国外務大臣 宮澤喜一閣下

合衆国側
書簡

日本側書簡

米国公務員
の日本船
船への乗
乗船に關
する措置

(かに漁業の取締りに関する日本側書簡)

(日本側書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本大臣と閣下との間で本日交換された東部ベーリング海のたらばかに漁業及びずわいがに漁業に関する書簡の3(4)の規定に言及するとともに、日本国政府は、東部ベーリング海において漁業に従事する日本国の船舶にアメリカ合衆国政府の公務員が取極の規定の実施を視察する目的で乗船することが認められ、かつ、当該視察が効果的に行われることを保証するための適当な措置をとる意向である旨を閣下に通報する光栄を有します。

日本国政府は、また、前記のアメリカ合衆国の公務員が日本国の船舶による取極の規定の違反とみなす事項について日本国の当局に通報した場合は、適当な措置をとる意向であります。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百七十四年十二月二十四日に東京で

日本国外務大臣 宮澤喜一

日本国駐在アメリカ合衆国特命全權大使

ジェームズ・D・ホッドソン 閣下

米国とのたらばかに漁業及びずわいがに漁業取極

(Japanese Note)

Tokyo, December 24, 1974

Translation

Excellency,

I have the honor to refer to the provisions of paragraph 3 (4) of the notes exchanged between us today concerning the king and Tanner crab fisheries in the eastern Bering Sea and to inform Your Excellency that it is the intention of the Government of Japan to take appropriate measures to ensure that officials of the Government of the United States of America be allowed to board Japanese vessels engaged in fishing operations in the eastern Bering Sea for the purpose of observation of the conduct of enforcement of the provisions of the agreements, and that the observation be carried out effectively.

It is also the intention of the Government of Japan that appropriate measures be taken in case the said United States officials report to the Japanese authorities concerned any alleged violation by Japanese vessels of the provisions of the agreements.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Kiichi Miyazawa
Minister for Foreign Affairs
of Japan

His Excellency
James D. Hodgson,
Ambassador extraordinary and
Plenipotentiary of the United States
of America in Japan

米国とのたらばかに漁業及びずわいがに漁業取極

(かのに混獲防止に関する日本側書簡)

(日本側書簡)

日本側書簡

混獲防止
に関する
措置

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本大臣と閣下との間で本日交換されたたらばかに漁業及びずわいがに漁業に関する書簡に関連して、日本国政府はかご以外の漁具によるたらばがに及びずわいがにの混獲を減少させ及び制御するよう計るために適当な手続をとる意向である旨を閣下に通報する光栄を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百七十四年十二月二十四日に東京で

日本国外務大臣 宮澤 喜一

日本国駐在アメリカ合衆国特命全權大使

ジェームズ・D・ホッドソン閣下

九四二

(Japanese Note)

Translation

Tokyo, December 24, 1974

Excellency,

I have the honor to inform Your Excellency that, in connection with the notes exchanged between us today concerning the king and Tanner crab fisheries, it is the intention of the Government of Japan to take appropriate procedures to attempt to reduce and control incidental catches of king and Tanner crabs by fishing gears other than crab pots.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Kiichi Miyazawa
Minister for Foreign Affairs
of Japan

His Excellency
James D. Hodgson,
Ambassador Extraordinary and
Plenipotentiary of the United States
of America in Japan

(訳文)

合意された議事録

日本国政府の代表者及びアメリカ合衆国政府の代表者は、宮澤外務大臣とホッドソン大使との間で本日交換された東部ベリング海のものに漁業及びびずわいがに漁業に関する書簡に關連して、次のとおり記録することを合意した。

1 いずれの政府も、自国の国民及び船舶が海洋の汚染を引き起こし又は海洋の生物資源の健全かつ良好な生存に悪影響を及ぼすような有害な行為を差し控えることを確保するためすべての可能な措置をとることが合意された。

2 両国の漁業の間に発生することがある漁具競合の問題については、個々の場合の必要に応じ関係当局者間において速やかに協議を行うことが適當であると認められた。

千九百七十四年十二月二十四日に東京で

日本国政府のために

宮澤 喜一

アメリカ合衆国政府のために

ジェームズ・D・ホッドソン

米国とのたらばがに漁業及びびずわいがに漁業取極

AGREED MINUTES

The representatives of the Government of Japan and the Government of the United States of America have agreed to record the following in connection with the notes exchanged today between Minister for Foreign Affairs Miyazawa and Ambassador Hodgson concerning the king and Tanner crab fisheries in the eastern Bering Sea:

1. It was agreed that the respective Governments would take all possible measures to ensure that their nationals and vessels refrain from engaging in such harmful practices as would result in pollution of the seas and would have deleterious effects upon the health and well-being of the living resources thereof.

2. It was recognized to be appropriate that, with respect to cases of gear conflict which may arise between the fisheries of the two countries, prompt consultation be held between the parties concerned as necessary in each case.

Tokyo, December 24, 1974

For the Government of Japan:

(Signed) Kirichi Miyazawa

For the Government of the United States of America:

(Signed) James D. Hodgson

（参 考）

この取極は、一九七二年十二月二十日付けの米国とのたらばがに漁業及びずわいがに漁業取極（昭和四十七年二国間条約集及び条約集第二一九一号参照）に代わるもので、東部ペーリング海におけるたらばがに及びずわいがにの漁獲量及び漁獲方法等について定めたものである。